資料4

(3) 上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用

イ　廃棄物エネルギーの利活用による地域振興

盛岡市環境部ごみ処理広域化推進室

説明内容

- 令和２年度県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会の開催結果
- 施設整備スケジュール
- 前回の懇談会での御意見・御質問

1　協議会の開催結果

■　県央ブロックごみ･し尿処理広域化推進協議会

1　日　時　　令和3年3月24日　10:00～11:10

2　出席者　　盛岡広域8市町長ほか

3　整備予定地の選定等の取扱い（協議結果）

･「盛岡インターチェンジ付近」を県央ブロックごみ処理広域化に係る新たなごみ処理施設の整備予定地として選定する。

･引き続き，地域住民や関係者に対し，廃棄物エネルギーを利活用した地域振興，まちづくり等を進めていくこと等について丁寧に説明し，意見交換を重ねていく。

･新たなごみ処理施設については，令和13年度からの稼働を目指す。

2　住民説明会等の開催状況

○「盛岡インターチェンジ付近」における住民説明会等の実施状況

年月日	実施内容	対象町内会	参加者等
H29. 7. 7	住民説明会(1会場)	土淵地区2町内会 (前潟自治会、上厨川自治会)	42名
H29.10.17	住民説明会(1会場)		47名
H30.11.16	懇談会　(1会場)	土淵地区全6町内会 (前潟自治会、上厨川自治会、土淵自治会、谷地上自治会、平賀振興会、長橋町自治会)	104名
H31. 1.20	懇談会　(1会場)		89名
H31. 2.19	秋田市総合環境センター施設見学		68名
H31. 2.21			
R 1. 5.26	懇談会　(1会場)	土淵地区全6町内会	77名
R 1. 7.29	仙台市松森工場施設見学		50名
R 1. 9.14	武蔵野クリーンセンター・さいたま市桜環境センター施設見学		13名
R 1. 9.21	シンポジウム	土淵地区全6町内会	70名
R 2. 6月	チラシ配布	土淵地区全6町内会	1,585部
R 2.11月	ごみ処理広域化周知のための冊子配布	盛岡広域8市町 ※盛岡市内は，土淵地区及び太田地区は各戸配布，その他地区は各戸回覧。	19,147部 ※土淵地区は1,585部

３　整備予定地の選定経過について

①　平成27年１月　「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」

新たなごみ処理施設を「盛岡市内」に整備する方針を示しました。

②　平成27年９月～29年３月　「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」

学識経験者・住民代表・関係団体の役職員で構成される委員会で、13回の検討を行い、整備候補地３か所（「都南工業団地付近」「盛岡インターチェンジ付近」「盛岡市クリーンセンター敷地」）を選定しました。

選定段階	選定の内容等	候補地数
第1次選定 （H27.9～H28.7）	立地回避要件への該当地を除外 ○保安林区域　○土砂災害危険箇所　○埋蔵文化財包蔵地 ○開発許可区域　○主要道路から１km以上　○浸水想定区域　など	466か所 ⇒　60か所
第2次選定 （H28.10）	簡易評価と客観的評価を実施 ○アクセスの容易性　○収集、運搬の効率性　○用地取得の可能性　など	60か所 ⇒　17か所
第3次選定 （H28.11）	１次総合評価を実施。併せて現地調査を実施 ○候補地評価　○相対的評価	17か所 ⇒　９か所
第4次選定 （H29.1～3）	２次総合評価を実施	９か所 ⇒　３か所

③　平成29年４月　「施設整備に関する要望書」

「盛岡南インターチェンジ付近」への施設整備に関する要望書が提出されました。

④　平成29年５月　「整備候補地４か所」を決定、公表

○　盛岡南インターチェンジ付近　　○　都南工業団地付近
○　盛岡インターチェンジ付近　　○　盛岡市クリーンセンター敷地

⑤　平成30年８月　地域との協議を優先して継続する２候補地の選定

○　都南工業団地付近　　○　盛岡インターチェンジ付近

⑥　平成31年３月
「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な整備候補地に選定

⑦　令和３年３月
「盛岡インターチェンジ付近」を「新施設の整備予定地に選定」

○　整備予定地の選定要素
・地域住民や関係者の意見等
・整備の確実性（地権者の状況など）
・整備運営上の諸条件（整備費用など）

4　施設整備スケジュール

【スケジュール表（予定）】
8ページに記載のとおり

令和13年度の新施設稼働に向けて

　引き続き，地域の皆様に丁寧に説明し意見交換を重ねながら，施設整備基本計画の策定や環境影響評価など，施設の建設に向けた準備を進めていきます。

5　施設整備懇話会（仮称）について

【目的】
　新しいごみ処理施設の整備や廃棄物エネルギー利活用の方針等について，学識経験者からの助言を受けながら，地域住民等との意見交換を行うことを目的とする。

【テーマ】
- 新施設に求められる役割（処理能力，環境性能，付加価値　など）
- 廃棄物エネルギー利活用の方向性

【回数】 年5回程度（予定）

【構成】 学識経験者，地域住民などにより構成（検討中）

6　前回の懇談会での御意見・御質問

前回の懇談会で，回答が保留となっていた質問項目について回答します。

№	内　容
①	ごみ処理施設の周辺環境測定で何か問題は生じているのか。 ・ 公共用水域（河川）のダイオキシン類濃度調査結果
②	ぜん息になる原因はどういうものが挙げられるのか。 ・ 焼却施設周辺の学校のぜん息被患率 「学校保健統計調査」結果

① ごみ処理施設の周辺環境測定で何か問題は生じているのか。

■ 公共用水域（河川）のダイオキシン類について

「令和元年度　ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について（岩手県　環境保全課）」より

公共用水域（河川）のダイオキシン類の調査結果

単位　水質：ピコグラム-TEQ（1リットル当たり）
底質：ピコグラム-TEQ（1グラム当たり）

河川名	調査地点	水質	底質
中津川	水道橋	0.037	0.14
米内川	落合橋	0.036	0.13
簗川	寺沢橋	0.036	0.11
乙部川	乙部橋	0.043	0.25

環境基準　水質：1リットル当たり1ピコグラム-TEQ
底質：1グラム当たり150ピコグラム-TEQ

測定の結果，米内川をはじめ，盛岡市内の4河川については，環境基準を下回っております。

なお，盛岡市上下水道局に確認したところ，取水口からの原水，浄水後の水いずれも水質に異常が生じた例はありませんでした。

② ぜん息になる原因はどういうものが挙げられるのか。

出典：独立行政法人　環境再生保全機構ホームページから作成

ぜん息は,「個体因子」と「環境因子」が複雑に絡み合って発症するとされています。

個体因子

遺伝子素因，アトピー素因，気道過敏性，性差，出生時体重や肥満　など

環境因子

喫煙，アレルゲン（ダニ，カビなど），呼吸器感染症，大気汚染，食物，鼻炎　　など

■　焼却施設周辺の学校のぜん息被患率　「学校保健統計調査」結果

（単位：%）

小学校		H26	H27	H28	H29	H30	R1
市クリーンセンター周辺	米　内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	松　園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北松園	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	東松園	5.6	6.3	5.9	5.0	0.0	7.3
土　淵		0.3	0.0	2.8	3.6	4.1	4.4
市平均		2.13	2.48	1.33	1.95	0.95	1.60
県平均		3.60	3.50	2.50	3.90	2.90	2.92
全国平均		3.88	3.95	3.69	3.87	3.51	3.76

（単位：%）

中学校		H26	H27	H28	H29	H30	R1
市クリーンセンター周辺	松　園	2.1	2.0	1.8	0.4	0.0	9.9
	北松園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	米　内	3.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
土　淵		5.8	2.5	1.8	1.7	0.0	0.0
市平均		1.43	1.85	1.53	1.49	1.30	1.66
県平均		2.00	1.80	1.50	3.10	3.40	1.82
全国平均		3.03	3.00	2.90	2.71	2.71	2.84

資料：文部科学省「学校保健統計調査」
割合：≪気管支喘息≫の該当者/全児童・生徒数

■　本調査結果では，「焼却施設」が「ぜん息」の直接原因となっていると特定するのは難しいものと考えられます。
　なお，総務省が設置する「公害等調整委員会」においては，「焼却施設」が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はありません。

～おわりに～

■ 地域に貢献する施設を目指して･･･

　ごみ処理施設の整備にあたっては，施設整備事業を円滑に進めるために，住民と行政との信頼関係を築くことが重要であると考えております。

　今後も，環境・安全対策や廃棄物エネルギーの利活用等の施設の特徴を活かした地域への貢献について説明した上で，皆さまと話し合いを重ね，さまざまな検討を行いながら，皆さまに親しんでもらえる施設を目指してまいります。

　ご意見やご感想をお寄せください。